

あじさいの咲き方の違いを調べる ～3年間の観察記録～

町田市立町田第五小学校
6年 飯塚 愛佳



1. 研究の動機

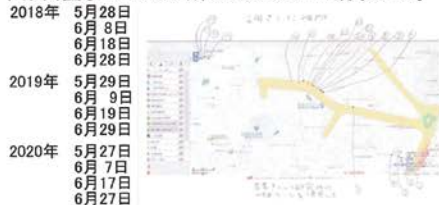
- 2017年・・・あじさいの季節に日差しが強い日が多く、花が咲く前にたくさんかれてしまったのを見つけた。
- 2018年・・・きれいに咲きそうだったのを見て、観察を始めた。
- 2019年・2020年・・・年ごとの変化を見ようと思って、観察を続けた。予想では、雨が降った量が多い方があじさいがきれいに咲くと考えた。

2. 研究の内容

- 研究内容：それぞれの場所の1かぶのあじさいを観察して、咲き具合の違いの原因について調べる。
- 観察した場所：玉川学園の20か所
- 観察した期間：2018年と2019年、2020年（それぞれ4回）

3. 研究の方法

①玉川学園コミュニティーセンターから金井かやば公園までの20か所であじさいを観察する。

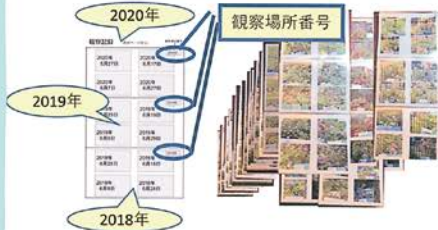


②気象庁データベースの2017年と2018年、2019年、2020年のこの水量のデータを5月と6月に分けて、その月にどれくらい雨が降ったかをまとめる。

③雨が降った量と、2018年と2019年、2020年の観察結果を比べてちがいを考える。

4. 調査したこと

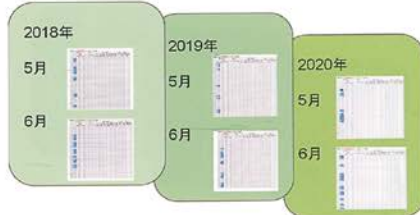
● 20か所のあじさいの咲き具合



● 雨の強さと降り方（気象庁WEBページより）

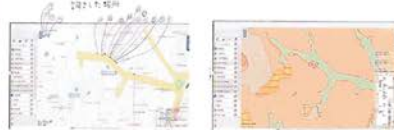


● 5・6月の降水量（気象庁データベースより）



※町田市に一番近い相模原中央の観測所のデータを使用

● 治水地形分類図（産業技術研究所WEBページより）



5. わかったこと

①色について

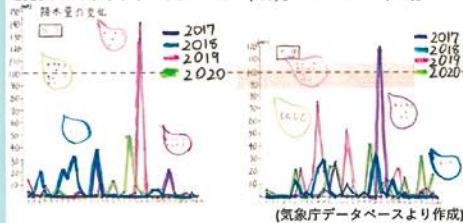
- あじさいの花の色は、青、水色、むらさき、ピンク、白などの色があった。
- 一つのかぶの花の色がいろいろあるものがあった。
- 川べりなどの土がしめっている所は、青、水色、むらさきなどの色が多かった。
- 丘の上はピンクなどの色が多かった。
- 近い場所のあじさいは花の色や咲き方が似ていた。花の色が途中で変化したものもあった。
- 同じ場所のあじさいでも年によって花の咲き方が違ったり、花の色が違ったりしたものがあつた。



②雨とあじさいの咲き具合の関係

● 5月と6月の雨の量

2017年ー「ほとんどカラカラ(5月)」+「カラカラ+ザー(6月)」
2018年ー「しとしと(5月)」+「しとしと(6月)」
2019年ー「カラカラ+ザー(5月)」+「ちょっとカラカラ+ザー(6月)」
2020年ー「からから+ちよとザー(5月)」+「しとしと(6月)」

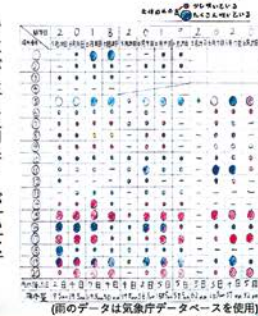


● 雨の降り方とあじさいの咲き具合

	2017年	2018年	2019年	2020年
雨が降った量	5月: 64.0mm (4回) 6月: 168.5mm (10回)	5月: 155.5mm(2回) 6月: 132.5mm (4回)	5月: 101.5mm (1回) 6月: 265.5mm (10回)	5月: 81.5mm (2回) 6月: 215.0mm (2回)
雨が降った回数	5月: 6日 (4回) 6月: 9日 (8回)	5月: 11日 (1回) 6月: 14日 (4回)	5月: 8日 (8回) 6月: 13日 (2回)	5月: 9日 (2回) 6月: 14日 (4回)
あじさいの咲き方	あじさいの花が咲く途中でかかれてしまったのをたくさん見た。6月のはじめに咲くまで枯れているものもあった。	あじさいの花がとてきれいに咲いた。	あじさいの花がまあい咲いた。	あじさいの花がまあい咲いた。

● あじさいがきれいに咲いた2018年は雨が降った日数が2017年から2020年までの中で一番多かった。しかし雨が降った量は一番ではなかった。

● しとしと降る雨があじさいをきれいに咲かせるのではないかと思う。



③あじさいの花が咲かないことがある

- 2018年と2019年には1か所ずつ、2020年には3か所の観察ポイントであじさいの花が咲かなかった。
- 極端な日照不足や夏から秋にかけての生育不良、冬の寒風害で花芽が枯れてしまうことなどがある。（旭川市公園緑地協会ホームページより）
- そこで、2018年から2020年の日照時間を調べてみた。9月があじさいを植える時期なので、9月から6月の東京の日照時間を合計した。すると、咲かなかったあじさいが一番多かった2020年が一番日照時間が短かった。

年	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計	
2018	124.4	94.7	162.7	211.1	206.1	167.3	196.0	201.8	199.3	163.1	1728.5
2019	96.7	139.0	151.0	145.3	222.2	138.0	177.3	194.4	229.4	129.5	1622.8
2020	137.6	112.8	170.3	128.6	139.8	196.1	181.9	213.4	175.5	136.3	1592.3

(気象庁データベースより作成)

6. 感想

- あじさいの花は、場所によって年によって花の咲き具合が違ったので観察するのがとても楽しかった。
- 研究は続けることで見えてくることあると思った。
- 2017年にあまりあじさいが咲いていなかったため、あじさいの写真をほとんどとらなかつた。気づいたことは研究のために記録を残しておくことが大切だと思った。
- あじさい観察といっしょに雨や水脈も勉強できて楽しかった。
- わたしたちが日本できれいに咲くあじさいを見続けられるためにも地球温暖化対策は大切だと思った。（日照り+どしゃぶり雨よりもしとしと雨が降る梅雨がよい。）



参考にした資料・WEBページ

- 産業技術研究所地図ナビ
<https://gbank.gsj.jp/geonavi/>
- 気象庁>各種データ>過去の気象データ検索
<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>
- 旭川市公園緑地協会
<http://www.asahikawa-park.or.jp/>
- 降水量〇〇ミリってどういう意味？好奇心をそだて考えるのが好きになる「科学のふしぎ365」(2012)より